

102-252

問題文

この処方が引き起こす可能性がある副作用について、その発現機序はどれか。2つ選べ。

1. アンギオテンシンIIAT₁ 受容体遮断により歯肉肥厚が起こる。
2. アセチルコリンM₃ 受容体遮断により眼圧亢進が起こる。
3. ヒスタミンH₁ 受容体遮断により眠気が起こる。
4. アドレナリンα₁ 受容体遮断により錐体外路障害が起こる。
5. ドパミンD₂ 受容体遮断により起立性低血圧が起こる。

解答

問252 : 4問253 : 2, 3

解説

問252

クロルプロマジンとは、受容体選択性の低い遮断薬です。色んな受容体を遮断します。

選択肢 の記述において

- ・強い眠気→抗コリン作用
- ・起床時立ちくらみ＝起立性低血圧→α₁ 遮断
- ・手の震え、こわばり＝パーキンソン様症状→D遮断 と考えられるためあらかじめ説明が必要です。

ちなみに、視野の狭窄や物の見えにくさ＝色素沈着の初期症状 です。この説明も必要になります。

選択肢 4 ですが

歯ぐきの腫れ → 一部の抗てんかん薬、Ca 拮抗薬の副作用 として知られています。クロルプロマジンの副作用としては知られてはおらず、説明は不要です。

以上より、問252 の正解は 4 です。

問253

選択肢 1 は、Ca 拮抗の記述です。

選択肢 2,3 は、正しい記述です。

選択肢 4,5 は、受容体が逆です。

以上より、問 2 5 3 の正解は 2,3 です。